

APARA会員各位

平成26年8月1日
自動車用品小売業協会
事務局 山下 睦

AAAL2014 海外視察 in 北米

拝啓

盛夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度、AAALで企画しております、2014SEMAショーを中心とした「北米流通視察セミナー」の、企画書を御案内させていただきます。

日程は11月1日（土）から11月8日（土）となり、お申込み期日が8月29日（金）となっております。

尚、APARAホームページの「会員向け情報・その他」に、掲載致しますのでご確認ください。

お申込みは添付の「AAALオートアフターマーケット活性化連合SEMAツアーに関するお伺い書」に必要事項とパスポートのコピーを添付し、JTB様に直接お申込みください。

昨年、講評でしたデトロイトからラスベガスのコースを企画し、特に自動車殿堂・フォード博物館・フォードファクトリーは見ごたえがあり、見聞も広がります。

昨年の「視察ツアーの報告書」をご参考に添付致しますので、この機会にご検討ください。

敬具

AAAL (オートアフターマーケット活性化連合) 会員の皆様へ

拝啓

2006年から毎年実施しているSEMAツアーも今年で9回目を迎えました。

昨年2013年のSEMAツアーからこれまでの西海岸コースから東海岸コースへ変更し、

米国自動車産業発祥地デトロイトに焦点を当てた企画を立てました。

デトロイトツアーが好評だった為今年も昨年同様デトロイト～ラスベガスコースを実施します。

デトロイト市がアメリカ連邦破産法第9条による保護を申請したことは既にメディア等で報じられました。しかし立ち直るのも速い米国自動車メーカー、今年に入り自動車生産及び売上台数はリーマンショック以前の過去最高の数字に戻ったようです。

GM、クライスラー、フォードの本社もデトロイト市の周りに位置しているアメリカ自動車産業の土地デトロイト。アメリカNO1デトロイトモーターショーの地。

一度衰退し、再び立ち上がるデトロイトの街並を肌で共有して頂き米国自動車産業モーターシティの復活を肉眼でチェックしたいと思います。なかなか行けない米国東海岸デトロイト！

是非今回のSEMA東海岸デトロイトツアー 奮ってご参加頂けることをお願い申し上げます。

敬具

基本旅行代金 **¥298,000** 申込み締切日 **●8月29日(金)**【出発2か月前】

●航空ですが団体枠で25名仮押さえしております。

※視察個所のアポイント等により変更になる場合がございます。予めご了承願います

※最終金額は9月20日(金)までに確定させていただきます

空港税諸費用 51,930円 (2014年7月1日現在)

《利用航空》 デルタ航空予定

《利用予定ホテル》 **【デトロイト】 DOUBLETREE BY HILTON DETROIT/NOVI 予定**
【ラスベガス】 Paris Las Vegas 予定

ご旅行代金に含まれるもの

- ① 往復航空代金 (エコノミークラス)
- ② 宿泊代金 (2名1室利用)
- ③ 専用車代金
- ④ 夕食2回分 (1日目 ウェルカムパーティー) (6日目 フェアウェルパーティー)
- ⑤ SEMAショー入場代金

ご旅行代金に含まれないもの

- ① 海外旅行傷害保険
- ② 行程に記載のない食事代金 (朝食代金・昼食代金・夕食4回分)

AAAL(米国)見積書 【2014年11月1日(土)~2014年11月8日(土) 6泊8日】
20名以上~30名以下 お一人様 298,000円

ご旅行代金に含まれるもの

- (1)航空料金(エコノミークラス)
- (2)宿泊代金2名1室利用
《デトロイト》 → ダブルツリーバイヒルトン ノヴィ
《ラスベガス》 → パリス ※1名1室の場合追加 70,000円追加
- (3)専用車代金
- (4)ガイド代金 (※ラスベガスは倉本氏がコーディネートします)
- (5)食事代金(行程記載分)
- (6)視察代金3件アポ予定
- (7)入場代金
《デトロイト》 → オートモーティブホール・ヘンリーフォード博物館
ルーージュ工場・グリーンフィールド
《ラスベガス》 → SEMAショー入場代金・代行費用含む
- (8)添乗員1名(日本より同行)
- (9)企画代金

ご旅行代金に含まれないもの

- (1)海外旅行傷害保険代金
- (2)1名1室代金
- (3)ビジネスクラス代金(JTBにお問い合わせ願います)
- (4)通訳
- (5)燃油サーチャージ・成田空港施設使用料・旅客サービス料・現地空港税 (58,100円相当)

参考

※13年度は 基本料金 296,000円 + 空港税諸費用(51,930円)・・・2014年は航空運賃値上げの為

2014年7月29日(金)

月日	都市名		時間	交通機関	スケジュール	食事
	日	都市名				
11月1日 (土)	1日目	成田空港 成田 デトロイト	14:00 16:20 14:56	DL276 専用車	成田空港第1ターミナル集合 デルタ航空利用 到着後、専用車にて ○ADVANCE AUTO PARTS<<自由視察>> (19040 Ecorse Rd, Allen Park, MI) ○Meijer<<自由視察>> (3565 Fairlane Blvd Allen Park,MI) 【デトロイト泊】	夕 ○ 朝: ○
11月2日 (日)	2日目	デトロイト	9:00 9:40~11:40 12:00~13:00 13:20~14:20 14:30~15:30 15:50~16:20 16:30	専用車	【専用車+ガイド 8時間】 ホテル発 ○Troy Motor Mall<<モーターショー内のディーラー>> http://www.suburbancollectiontroytormall.com/index.htm ○Oakland Mall<<内フードコートにて自由昼食>> http://www.oaklandmall.com/pdfs/DirectoryMap.pdf ○Mode T Automotive Heritage Complex <<自由視察>> http://www.tplex.org/3_aboutclub.html ○Detroit Historical Society <<自由視察>> http://detroithistorical.org/detroit-historical-museum/exhibitions ○O'Reilly Auto Parts<<自由視察>> ホテル到着 【デトロイト泊】	夕 × 朝: ○
11月3日 (月)	3日目	デトロイト	9:00 9:15~10:15 10:30~12:30 12:30~13:30 13:30~14:30 14:30~15:30 16:00~16:30 17:00	専用車	【専用車+ガイド 8時間】 ホテル発 ○Automobile Hall of Fame ○Ford Rouge Factory Tour ○Henry Ford Museum Caféにて自由昼食 ○Henry Ford Museum 見学 ○Greenfield Village内 Henry Fords Model T Distric にてビンテージ・モデルT試乗 ○GM World / GM Renaissance Tower 視察 ホテル着 【デトロイト泊】	夕 × 朝: ○
11月4日 (火)	4日目	デトロイト ラスベガス	8:35 10:06	専用車 DL2316 専用車	到着後、★SEMA SHOW 視察 【ラスベガス泊】	夕 × 朝: ○
11月5日 (水)	5日目	ラスベガス	終日		◎SEMA SHOW 自由視察 【ラスベガス泊】	夕 × 朝: ×
11月6日 (木)	6日目	ラスベガス	9:00 9:20~10:00 10:20~11:50 12:15~12:45 12:45~13:15 13:30~14:40 15:00~16:30 17:00	専用車	【専用車+ガイド 8時間】 ホテル発 ○アウトドア・ワールド自由視察 ○アロヨ・マーケットスクエア自由視察 ○ベップボーイズ自由視察 ○オートゾーン自由視察 ○ファンクションショー・モール内フードコートにて自由昼食 ○プレミアアウトレット・ノース自由視察 ホテル着 【ラスベガス泊】	夕 ○ 朝: ×
11月7日 (金)	7日目	ラスベガス ポートランド ポートランド	7:00 9:19 11:44	専用車 AS629 DL 623		夕 ○ 朝: ×
11月8日 (土)	8日目	成田	15:55		到着後解散へ	

※交通事情により行程が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください
 (株)JTBコーポレートセールス
 霞が関第五事業部 担当 石井 良和



デトロイトは、自動車産業の興隆とともに米国有数の都市として栄え、1930年代に最盛期を迎えたが、1960年代には工場での職を求めて南部からやって来た黒人の数が50万人に達し、白人との間に摩擦が生じ始めた。1967年、白人警官と黒人との間に起こった言い争いが大人種暴動へと発展し、人種間の摩擦はピークに達した。さらに、1973年には初の黒人市長コールマンが誕生し、その白人対策姿勢から、裕福な白人層が市内を逃れて郊外に移り住むようになり、街の廃墟化にいつそう拍車がかかった。

また、1980年代は、日本車が米国市場に台頭してきた頃であり、自動車関連産業に依存するデトロイト都市圏の失業率が16%(当時の全米平均9.7%)にも達し、一時期、反日感情が燃え盛った。

このように治安が悪いというイメージが付きまとうデトロイトの街であるが、ここ数年は市内の復興プロジェクトのための工事やIT企業への誘致活動など以前と比べると治安も改善されてきている。

MEIJER SUPERMARKET メイヤー・スーパーマーケット

ミシガン州内に約200店舗を展開する。GRAND RAPID 市に本社を持つ大型スーパーマーケットチェーン。ガソリンスタンドも約180店経営。現在先代の遺志を継いだ新社長が植物園内に日本庭園を造園中。

同敷地内にベストバイ、ホームデポ、ターゲット、ベッドバス&ビヨンド、オールド・ネイビー、バーズ&ノーブルなどがあります。



AUTOMOTIVE HALL OF FAME 自動車殿堂

設立は1939年。博物館などの見学施設が併設。ヘンリー・フォード博物館とグリーンフィールド・ビレッジと同じ地区の北西の端に位置したところに、自動車産業にかかわった人たちの業績を称えるために設立された自動車の殿堂。館内にはガソリンエンジンの発明家(ニコラス・オットー)や、その後の車の発展を方向づけた偉大な発明家や起業家たち200人近くが殿堂入りしています。



FORD ROUGE FACTORY TOUR フォード・ルージュ・ファクトリー・ツアー

今視察のハイライト個所。

ツアーの所要時間は約2時間。

(ただし、ルージュ工場では車の需要が少ない場合は製造しませんので日によっては最終組み立てエリアを見学しても機械が動いてない場合もあります。)

- ・レガシー・シアター(ルージュ工場の功績と惨事等の歴史を学ぶ)
- ・展望デッキ見学
- ・車が組み立てられる最終組み立てエリアの見学
- ・アート・オブ・マニュファクチャー・シアター(どのように車が造られているかを学ぶ)



HENRY FORD MUSEUM ヘンリー・フォード博物館

エジソン学会 Edison Institute が管理・運営するヘンリー・フォード博物館(正式には"ヘンリー・フォード博物館とグリーンフィールド・ビレッジ")は、アメリカ最大級でミシガン州メトロ・デトロイトエリアに属する、ディアボンの博物館複合施設であり、アメリカ合衆国国定歴史建造物に指定されている。名前は自動車産業で偉大な足跡を遺し、この博物館を計画・建設したヘンリー・フォードに由来する。

49,000 m²ある屋内展示中心のヘンリー・フォード博物館にはフォード劇場のエイブラハム・リンカーンの椅子や、ジョン・F・ケネディの車などがある。入館直後の広間には、この建物の鍍入れ式に出席した、エジソンが使ったスコップが立てられている。また、広大な敷地 360,000 m²を有するグリーンフィールド・ビレッジにはトマス・エジソンの研究所、ライト兄弟の自転車屋他、周囲を巡る蒸気機関車、さらにはリバーシップ(乗船可能)など開拓以降の歴史的建造物や乗り物が保存されている。



GM RENAISSANCE CENTER GM ルネッサンス・センター

7棟の高層ビルと4棟の低層ビルはすべて連結されていて、オフィス、ホテル、商業施設等が入っています。ルネッサンス・センターを有名にしているいちばんの理由は、巨大であることと同時にGMが所有していることにあります。

メインエントランス正面に位置するショールーム入口で、まず目に入ってくるのは、シボレー、ビュイック、キャディラックの4ブランドのバッジです。上部空間の広さ、明るさも自動車ショールームとしては他に類を見ない大変広いものとなります。



ANN ARBOR TOYOTA DEALER アナーバー・トヨタ・ディーラー

複数のオートディーラーの集まるアナーバー・ジャクソン通りにあるトヨタ・ディーラー。トヨタ以外にスバルやサイオンも扱っている。近隣にある他店舗は下記の通りです。

メルセデスベンツ、BMW、三菱、現代、レクサス、インフィニ 等

※ディーラーについては現在選定中です

LAS VEGAS

ラスベガス

1829年にスペイン人に発見され、現在はカジノとエンターテインメントの街として世界的に有名で、多くのテーマホテルが建ち並びます。世界最先端のアトラクション、バラエティ豊かなショッピング、著名シェフが腕を振るう数々のレストラン、それに華やかなナイトライフの楽しみやトップレベルのゴルフコースまで、思いのままに楽しむことが可能です。近隣には古き良き時代を再現した「オールドネバダ」や有名な「フーバーダム」があります。



SEMA SHOW 2014

開催期間: 2014年11月4日~11月7日 会場: ラスベガスコンベンションセンター

SEMA Showは米国自動車用品工業会(SEMA)が主催し2,000社をこえる出展を誇る世界最大規模のアフターマーケットパーツのトレードショー。来場者は10万を超える。一挙に発信されるため、最新トレンドを掴む絶好の機会です。更に、関連業界の方のみが入場可能な展示会です。

